

2021年8月4日

## 感染防止対策のさらなる強化について

一般社団法人日本ショッピングセンター協会

会長 清野 智

先般の8月2日発行の文書のとおり、現在緊急事態宣言が発出され、各SCにおいては新型コロナウイルスの感染拡大防止に努めているところであります。

しかし連日、感染力の強い変異ウイルス「デルタ株」の広がりにより、感染者数が各地において急拡大しています。先日、関西の某百貨店において、従業員の間でクラスターが発生したという報道がありましたが、私どもの会員企業SCのルミネエスト（東京・新宿）において、7月21日以降、従業員61名の感染が判明しました。同SCでは8月4日に臨時休業し、感染対策として館内の一斉消毒を行い、5日に営業を再開する予定としております。

各SCでは「小売業の店舗における新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」に沿って感染対策を講じて、安全・安心な施設を維持してきました。しかし、感染力が非常に強い「デルタ株」による感染拡大を考えますと、ワクチン接種の効果が出るまで当面感染状況の収束は見通せず、今後爆発的な感染拡大となった場合、国等からより強い措置が取られることが想定されます。

各SCにおいては、現在の対策を総点検し、SCに係るすべての方々への感染防止対策をこれまで以上に講じてください。

つきましては、可能な範囲で入店顧客対応（手指消毒、接客体制、混雑時の入店制限等）や、従業員対応（従業員同士の一定距離の確保、マスク着用、黙食等）、さらには従業員の施設内外における行動自粛の徹底も含め、効果的な感染抑制のための取り組みを要請します。

SCが地域のインフラ機能を担うため、さらなる感染防止対策の徹底をお願いします。

以上